

青森県経済統計報告

平成19年7月2日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成19年6月1日現在）..... 1

県人口	1,411,117人（対前月 930人 減少）
自然動態	310人減少（出生者数 1,007人、死亡者数 1,317人）
社会動態	620人減少（転入者数 1,596人、転出者数 2,216人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、消費面に弱さがみられるものの、生産面を中心に堅調に推移している。

（2）主要経済指標の動向

（2-1）製造業の生産動向 2

平成19年4月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が95.9で、前月比3.6%の低下となり、3ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は92.0で、前年同月比5.3%の上昇となり、6ヶ月連続で前年同月を上回った。

（2-2）雇用情勢 3

平成19年4月の定期給与は228,800円で前年同月比3.9%増となった。総実労働時間は162.0時間で前年同月比0.5%増、所定外労働時間は11.3時間で前年同月比27.3%増となった。
平成19年5月の有効求人倍率（季節調整値）は0.49倍で、前月比0.03ポイント上回った。

（2-3）物価 4

平成19年5月の青森市消費者物価指数は、平成17年を100として100.0となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ0.5%の下落となった。

（2-4）個人消費 5

平成19年4月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが138億6千9百万円で前年同月比1.2%減と2ヶ月連続で減少、既存店ベースでは1.7%減と17ヶ月連続で減少となった。
平成19年5月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,144台で、前年同月比5.2%の減となり、3ヶ月連続で前年を下回った。

（2-5）住宅建設 6

平成19年5月の新設住宅着工戸数は557戸で、前年同月比34.8%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。

（2-6）電力使用量 6

平成19年5月の大口電力使用量は2億5,349万kWhで、前年同月比9.4%増となり、8ヶ月連続で前年を上回った。

（3）景気動向指数（平成19年4月分）..... 7

先行指数	33.3%（2か月ぶりに50%を下回った）
一致指数	44.4%（2か月連続で50%を下回った）
遅行指数	66.7%（3か月ぶりに50%を上回った）

1 青森県の推計人口(平成19年6月1日現在)

【概況】

平成19年6月1日現在の本県推計人口は、1,411,117人で、前月に比べ930人の減少となった。

○自然動態

出生者数が1,007人、死亡者数が1,317人で、310人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,596人、転出者数が2,216人で、620人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数			対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
18.6.1	1,425,271	672,856	752,415	-0.046%	-663	-271	984	1,255	-392	1,643	2,035
18.7.1	1,424,530	672,338	752,192	-0.052%	-741	-279	910	1,189	-462	1,345	1,807
18.8.1	1,424,090	672,039	752,051	-0.031%	-440	-217	914	1,131	-223	1,930	2,153
18.9.1	1,423,840	671,898	751,942	-0.018%	-250	-239	923	1,162	-11	2,171	2,182
18.10.1	1,423,412	671,651	751,761	-0.030%	-428	-146	940	1,086	-282	1,590	1,872
18.11.1	1,422,852	671,368	751,484	-0.039%	-560	-259	946	1,205	-301	1,737	2,038
18.12.1	1,422,159	671,025	751,134	-0.049%	-693	-375	860	1,235	-318	1,201	1,519
19.1.1	1,421,519	670,706	750,813	-0.045%	-640	-503	786	1,289	-137	1,212	1,349
19.2.1	1,420,348	670,000	750,348	-0.082%	-1,171	-552	841	1,393	-619	1,099	1,718
19.3.1	1,419,497	669,462	750,035	-0.060%	-851	-393	763	1,156	-458	1,134	1,592
19.4.1	1,412,767	665,701	747,066	-0.574%	-6,730	-465	831	1,296	-6,265	3,722	9,987
19.5.1	1,412,047	665,362	746,685	-0.051%	-720	-474	794	1,268	-246	4,208	4,454
19.6.1	1,411,117	664,842	746,275	-0.066%	-930	-310	1,007	1,317	-620	1,596	2,216

5月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月	平10.5	11.5	12.5	13.5	14.5	15.5	16.5	17.5	18.5	19.5	
自然動態	出生者数	1,130	1,114	1,164	1,232	1,149	999	942	956	1,007	
	死亡者数	1,005	1,094	1,123	1,215	1,138	1,164	1,184	1,257	1,317	
	自然増減数	125	20	41	17	11	-165	-242	-301	-271	-310
社会動態	県外からの転入者数	1,887	1,912	1,961	1,961	1,909	1,815	1,555	1,693	1,643	1,596
	県外への転出者数	1,768	1,607	1,756	1,790	1,806	1,849	1,676	1,976	2,035	2,216
	社会増減数	119	305	205	171	103	-34	-121	-283	-392	-620

- 1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。
- 2 平成18年3月以降の人口は平成17年国勢調査人口を基礎に推計している。
- 3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。
- 4 算出方法
 県の推計人口 = 前月の人口 + 自然増減数(出生者数 - 死亡者数) + 社会増減数(県外からの転入者数 - 県外への転出者数)
- 5 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

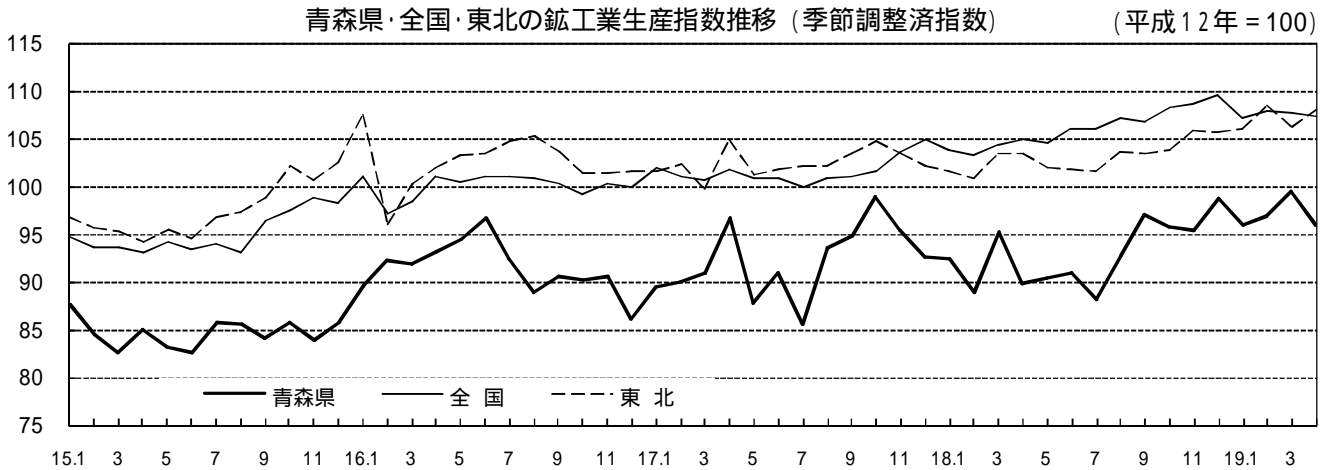
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

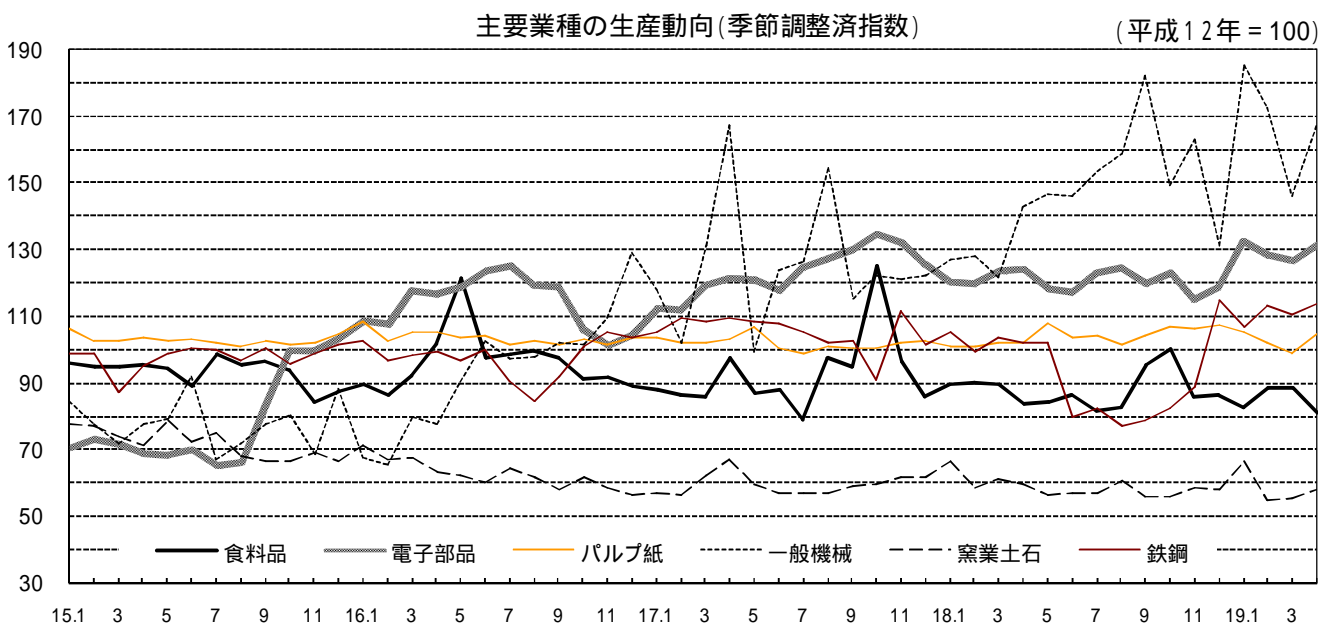
平成19年4月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が95.9で、前月比3.6%の低下となり、3ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は92.0で、前年同月比5.3%の上昇となり、6ヶ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、一般機械工業、輸送機械工業、金属製品工業などが上昇に寄与した一方、電気機械工業、食料品工業、化学工業などが低下し、鉱工業全体では3.6%の低下となった。



業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 -3.6%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
一般機械工業	14.5	86.4	電気機械工業	-22.8	-173.7
輸送機械工業	72.9	48.8	食料品工業	-8.5	-131.9
金属製品工業	21.8	46.9	化学工業	-30.0	-76.5
電子部品・デバイス工業	3.8	38.6	繊維工業	-3.0	-6.1
パルプ・紙・紙加工品工業	5.5	31.1	木材・木製品工業	-4.7	-4.5



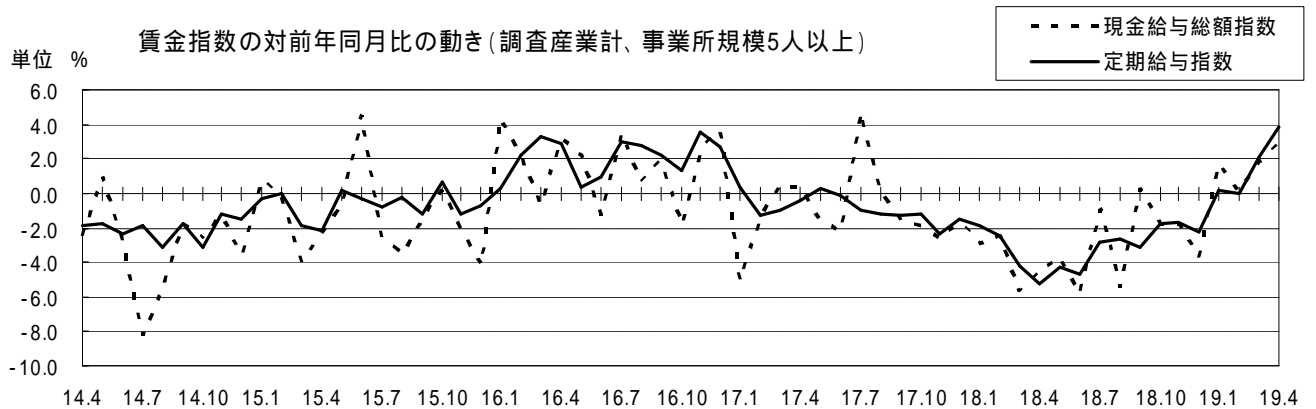
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成19年4月の定期給与は228,800円で定期給与指数(平成17年=100)では99.4となり、前年同月比3.9%増(現金給与総額231,708円、現金給与総額指数84.9、前年同月比2.9%増)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は84.1となった。

総実労働時間は162.0時間で、総実労働時間指数は101.7となり、前年同月比0.5%増となった。このうち、所定外労働時間は11.3時間で、所定外労働時間指数では114.1となり、前年同月比27.3%増となった。

平成19年5月の有効求人倍率(季節調整値)は0.49倍で、前月比0.03ポイント上回った。



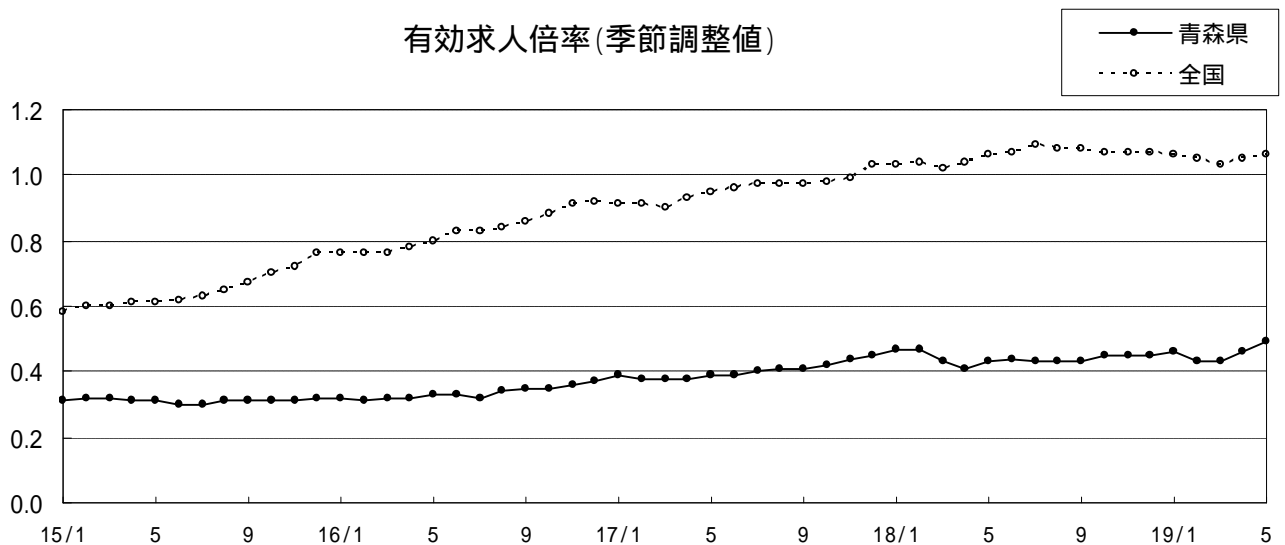
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	231,708 円	279,395 円	84.9	84.3	2.9 %	-0.2 %
定期給与	228,800 円	272,153 円	99.4	100.7	3.9 %	-0.5 %
特別給与	2,908 円	7,242 円				
総実労働時間	162.0 時間	154.6 時間	101.7	102.5	0.5 %	-1.0 %
所定内労働時間	150.7 時間	143.2 時間	100.9	102.2	-1.0 %	-0.9 %
所定外労働時間	11.3 時間	11.4 時間	114.1	107.5	27.3 %	0.7 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成19年5月の青森市消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が100.0となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ0.5%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は99.6となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ0.8%の下落となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.3となり、前月と比べ0.1%の下落、前年同月と比べ0.9%の下落となった。

総合指数が前月と比べ0.3%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの上昇が要因となっている。

総合指数の前年同月比が0.5%の下落となった内訳を寄与度でみると、教養娯楽などの下落が要因となっている。

図1 総合指数の動き

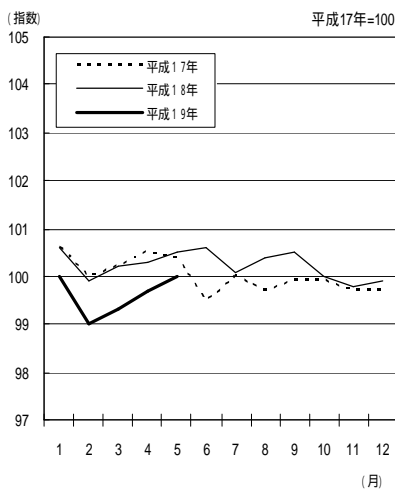


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

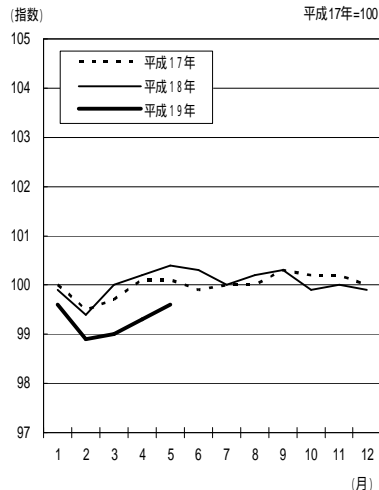
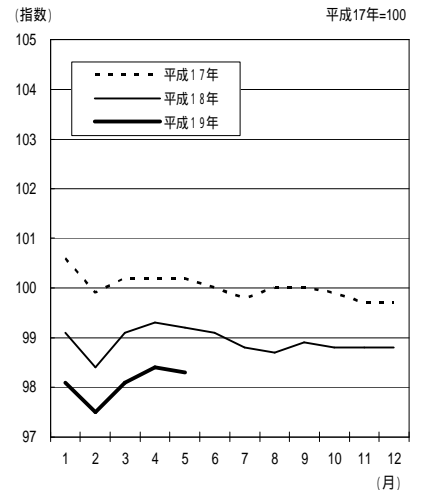


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
当月指数	100.0	99.6	100.1	98.3	99.7	106.7	99.1	107.1	92.0	100.2	99.8	100.5	101.2	96.5	100.4
前月比(%)	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	1.6	1.3	0.0	0.3	1.6	0.0	0.4	0.3
寄与度	0.30	0.28	0.25	0.06	0.09	0.01	0.02	0.17	0.04	0.00	0.01	0.17	0.00	0.04	0.02
前年同月比(%)	0.5	0.8	0.7	0.9	0.0	3.3	0.3	1.4	2.0	1.3	0.8	0.8	0.6	2.2	0.2
寄与度	0.50	0.75	0.59	0.57	0.00	0.19	0.06	0.15	0.06	0.05	0.03	0.09	0.02	0.22	0.01

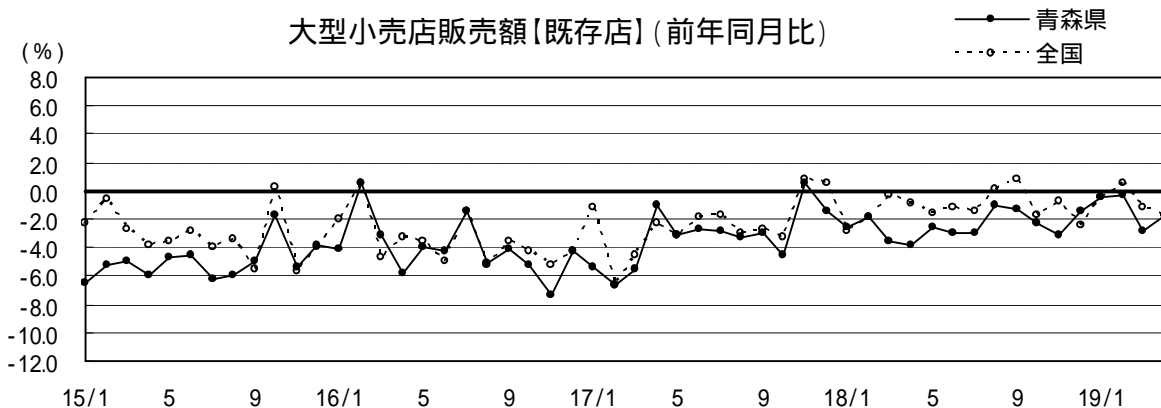
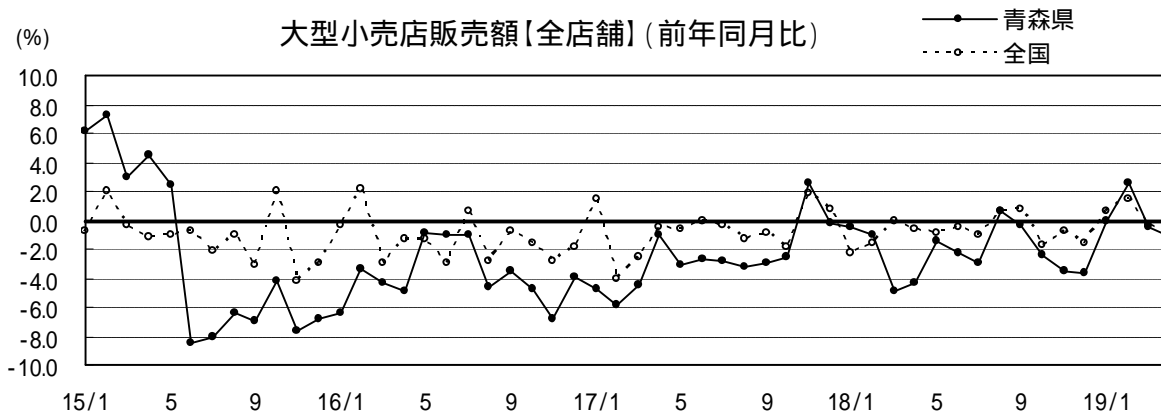
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

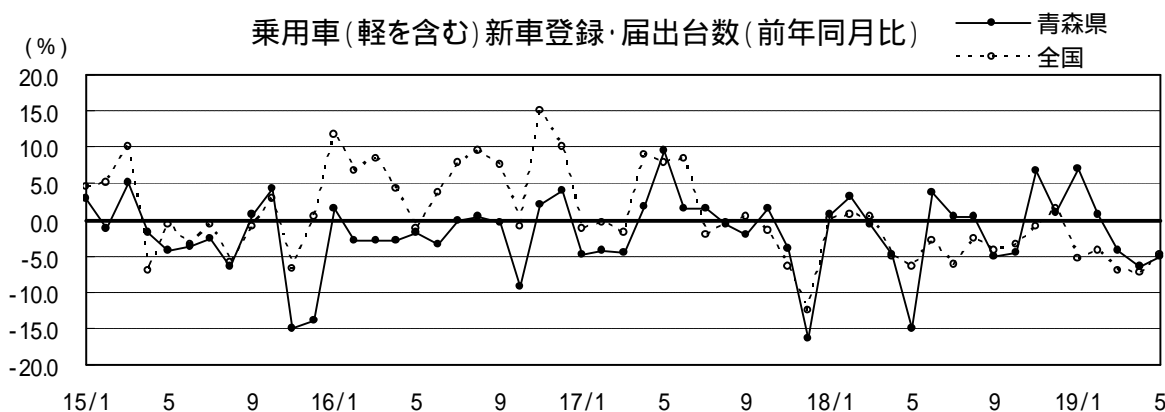
平成19年4月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが138億6千9百万円で前年同月比1.2%減と2ヶ月連続で減少、既存店ベースでは1.7%減と17ヶ月連続で減少となった。百貨店は、気温が低めだったことから春物衣料が伸び悩み、2ヶ月連続で前年を下回った。スーパーは、主力の飲食料品に動きがみられたものの、春物衣料や身の回り品などが伸び悩み、3ヶ月連続で前年を下回った。

平成19年5月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,144台で、前年同月比5.2%の減となり、3ヶ月連続で前年を下回った。軽自動車が2ヶ月ぶりに増加したものの、普通車が3ヶ月連続で、小型車が14ヶ月連続で、それぞれ減少したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

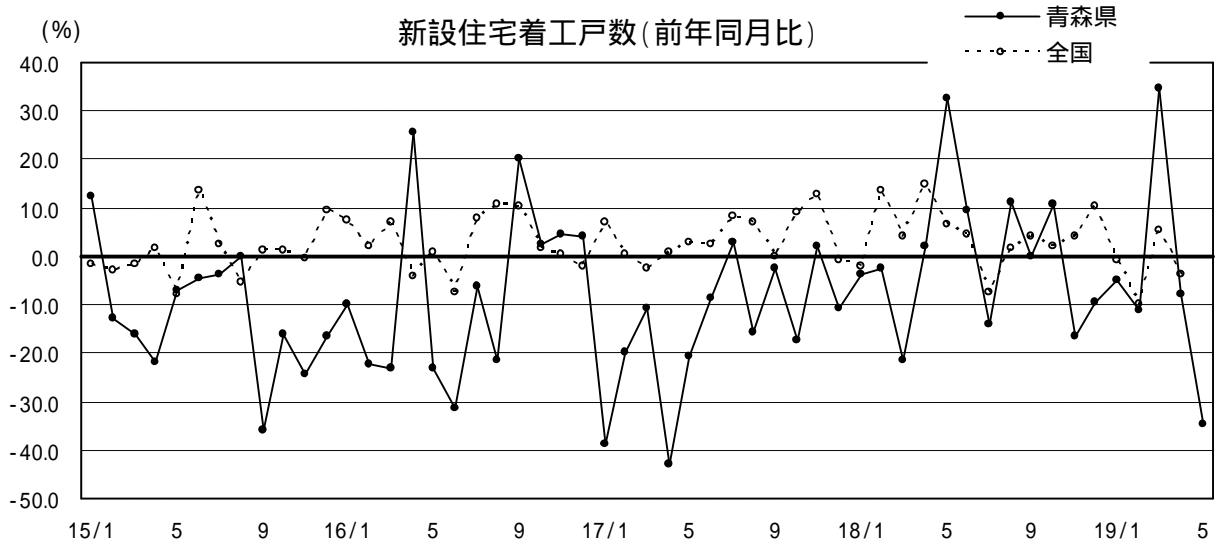
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2 - 5) 住宅建設

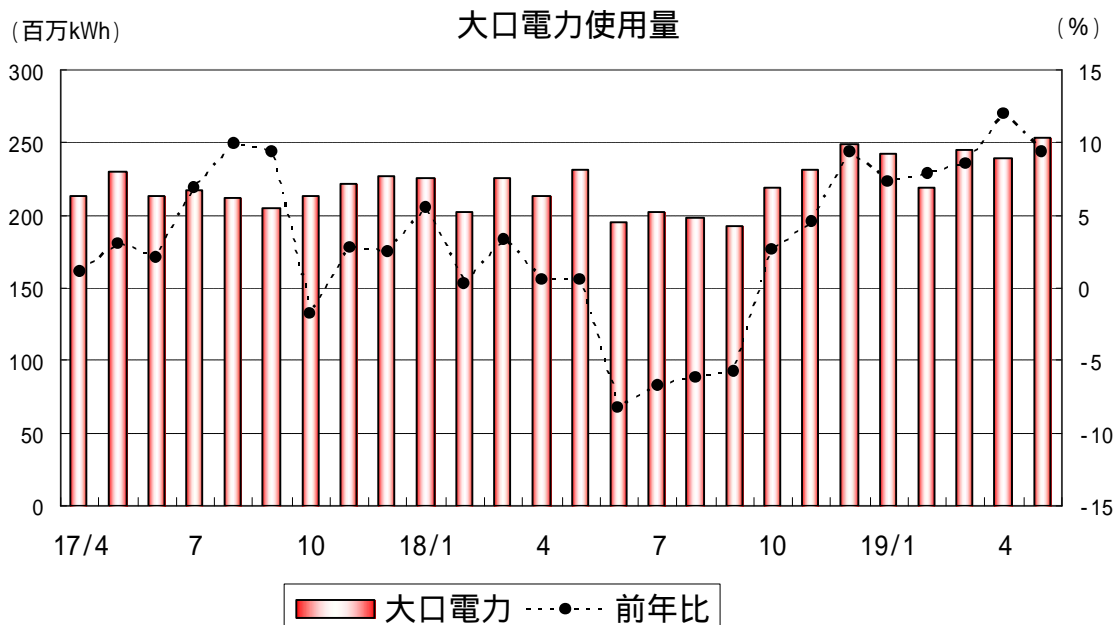
平成19年5月の新設住宅着工戸数は557戸で、前年同月比34.8%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。持家、貸家、分譲住宅がそれぞれ減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2 - 6) 電力使用量

平成19年5月の大口電力使用量は2億5,349万kWhで、前年同月比9.4%増となり、8ヶ月連続で前年を上回った。鉄鋼、食料品などが稼働増となったことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

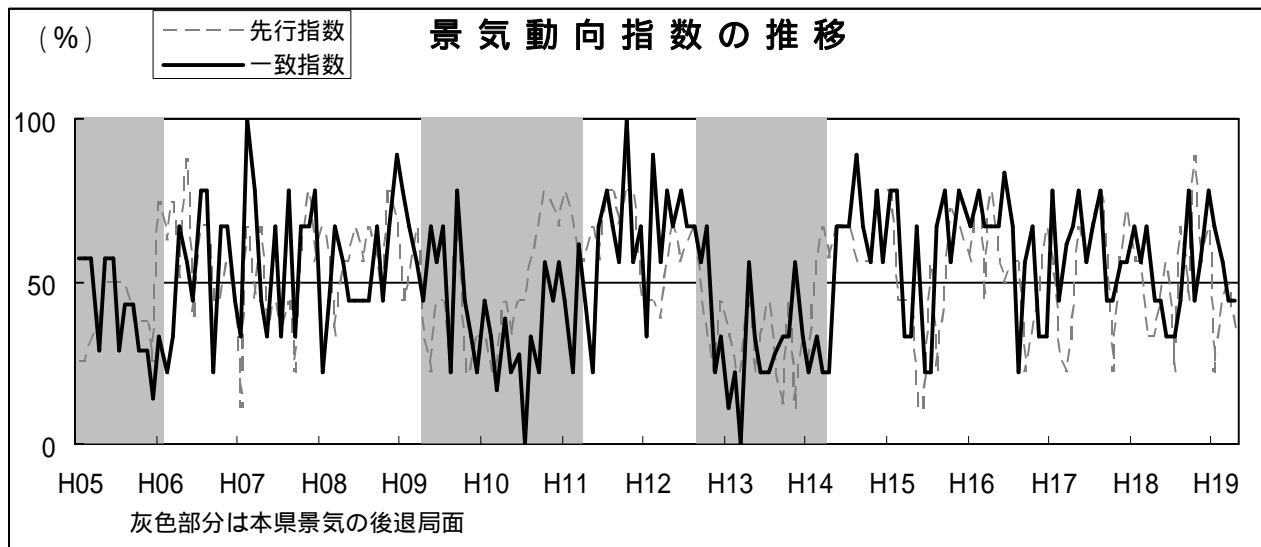
平成19年4月の青森県景気動向指数は、先行指数33.3%、一致指数44.4%、遅行指数66.7%となった。

先行指数は、2か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は、2か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、3か月ぶりに50%を上回った。

4月の一致指数は、労働、物流関連等の指標がマイナスとなったことから、50%を下回った。



個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中3指標がプラス）			
生産財生産指数	2か月ぶり	乗用車新車登録届出台数	2か月連続
新規求人倍率（全数）	4か月ぶり	所定外労働時間指数	4か月連続
入職率（製造業）	6か月ぶり	新設住宅着工床面積	2か月ぶり
		建築着工床面積	3か月ぶり
		企業倒産負債額	2か月ぶり
		中小企業景況D I	3か月ぶり
一致系列（9指標中4指標がプラス）			
大型小売店販売額（既存店）	2か月ぶり	電気機械生産指数	4か月ぶり
鉱工業生産指数	2か月連続	有効求人数（全数）	2か月連続
大口電力使用量	6か月連続	総実労働時間数（全産業）	4か月連続
日銀券月中発行高	2か月連続	海上出入貨物量（八戸港）	3か月連続
		東北自動車道IC利用台数	2か月連続
遅行系列（6指標中4指標がプラス）			
勤労者世帯家計消費支出（実質）	3か月ぶり	単位労働コスト（製造業）	5か月連続
常用雇用指数（製造業）	2か月連続	青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	4か月連続
1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり		
輸入通関実績（八戸港）	6か月連続		

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」